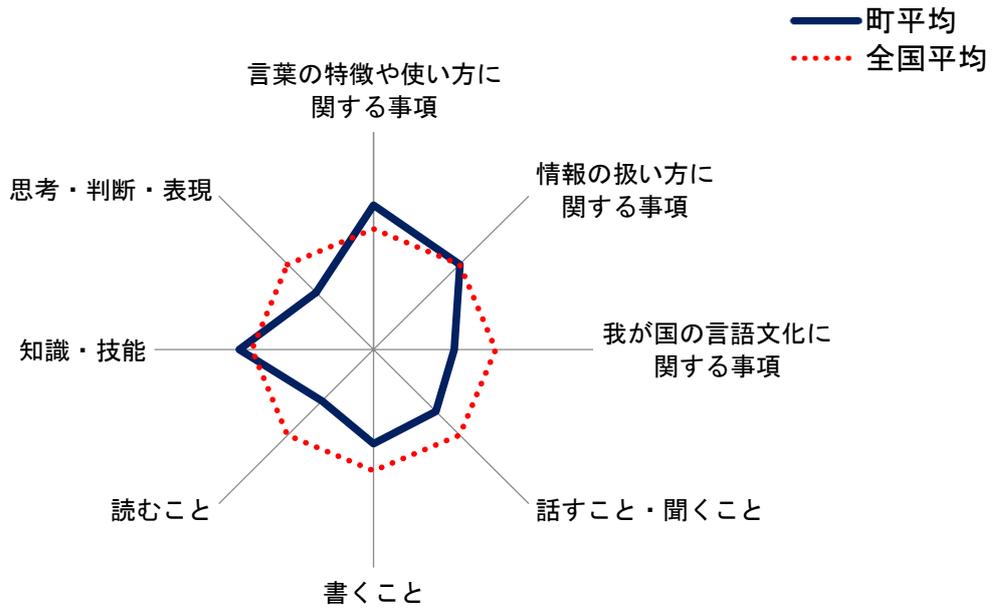
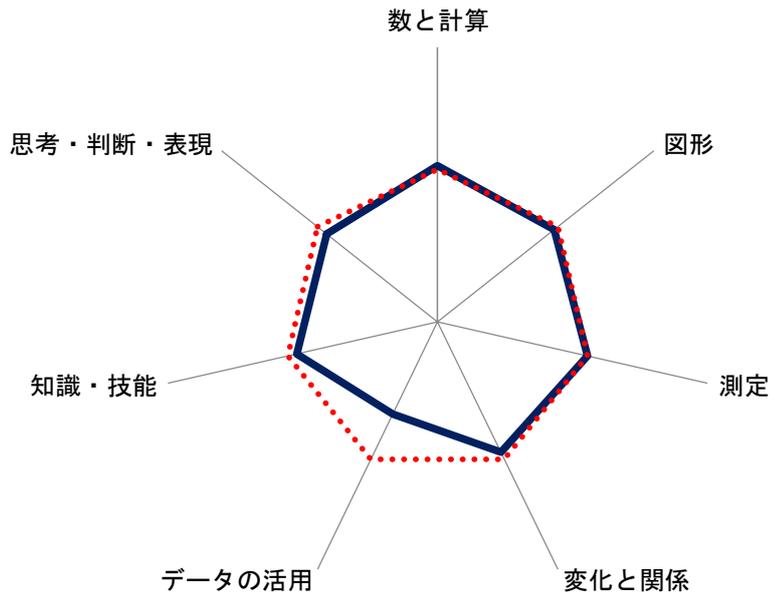


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

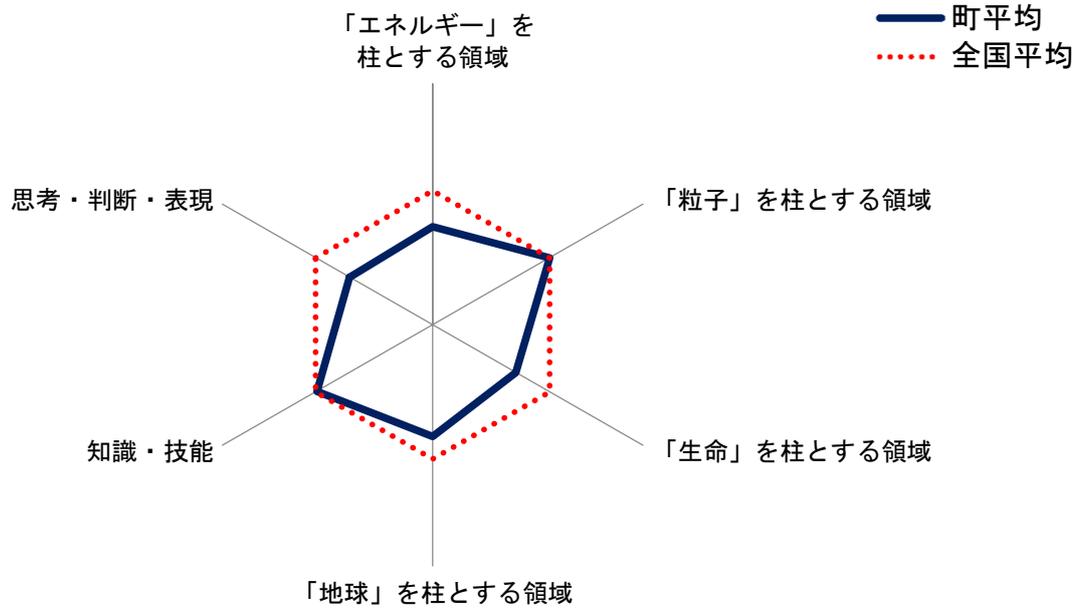


【算数】

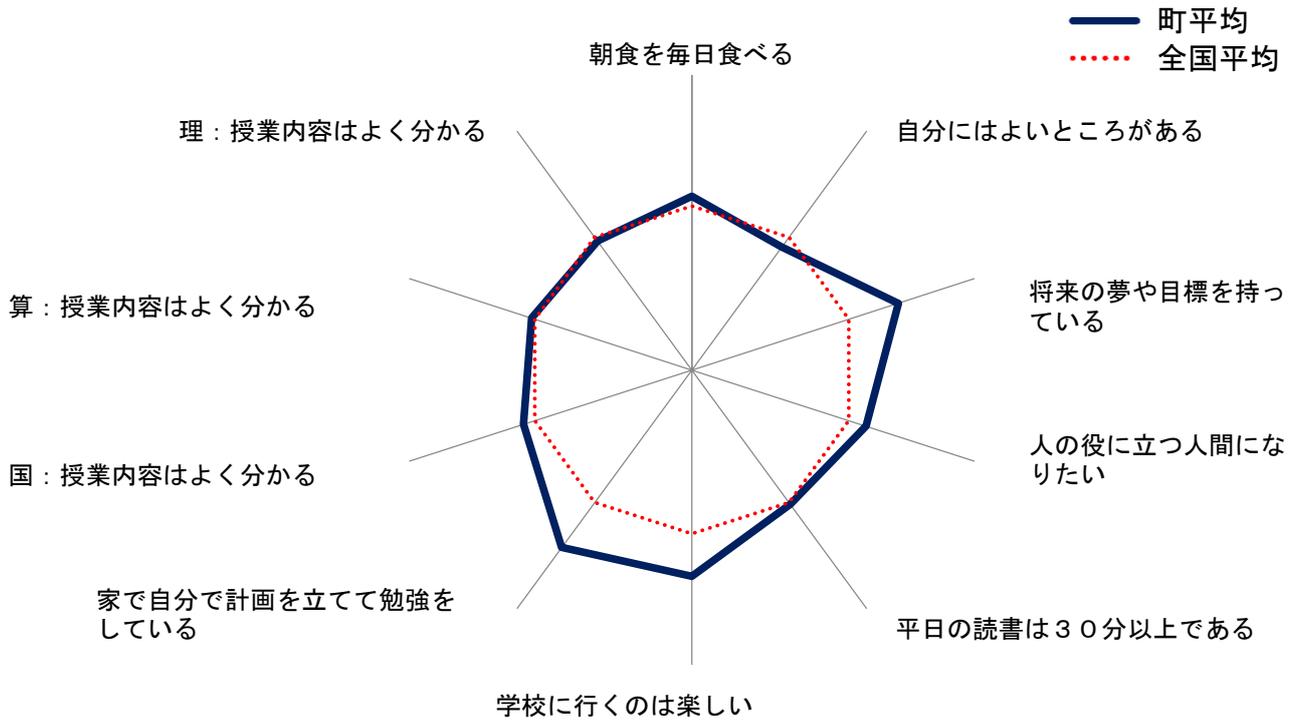


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、算数の「数と計算」の項目は全国平均を上回っているものの、ほとんどの項目が全国平均を下回っており、特に、国語の「読むこと」、算数の「データの活用」、理科の「『生命』を柱とする領域」などの項目は、全国との差が大きく、これらの学習内容の定着に課題が見られる。今後も、考える過程を大切にした授業展開の工夫に引き続き取り組み、知識及び技能の確実な定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げているほとんどの項目で全国平均を上回っており、特に、「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」の項目が前回調査から大幅に改善され、良好な結果である。引き続き、自己肯定感や自己有用感を高める教育活動を推進することが望まれる。